

## 「地域福祉にかかる実態調査（令和7年8～9月実施）」の質問項目等について

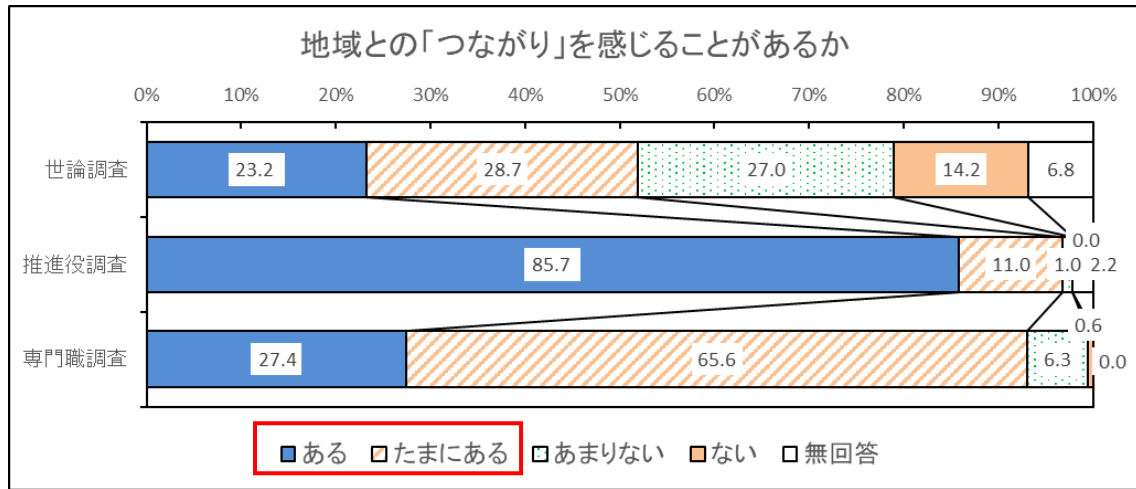
実態調査報告（抜粋）

第3期大阪市地域福祉基本計画の体系		調査項目	番号	評価指標	①世論調査票	②推進役調査票	③専門職調査票		
1-1 住民主体の地域課題の解決力強化と見守り活動の充実	地域での支え合い、助け合いの意識づくり	①地域での「つながり」の実感 地域で支え合い・助け合いの意識を醸成していくには、まず地域で「つながり」を感じてもらう必要がある。実際、どのような時に「つながり」を感じたのか、感じることができているのかなどを調査する。	1	「つながり」の実感	1-1(1)	質問1	質問1		
			2	「つながり」を感じるとき		質問2	質問2		
			3	どんなれば「つながり」を実感できるか			質問3	質問3	
		地域福祉活動への参加の促進	②支え合い・助け合いに関する意識 支え合い・助け合いの意識がどこまで地域に根付いているのか、地域における支え合い・助け合いのニーズ（助けたいこと、助けてもらいたいこと）などを調査する。	4	手助けしたこと	1-1(1)	質問3		
				5	手助けしたいこと			質問4	
				手助けしてもらっていること					
	6			地域福祉活動の認知			質問5		
	7			地域福祉活動への関心	1-1(2)		質問6		
	8			地域福祉活動への参加	1-1(2)		質問7		
	9			参加したきっかけ			質問8	質問4	
	10			継続している理由				質問5	
	11			参加した際の負担			質問9	質問6	
	12			参加しなかった理由			質問10		
	地域福祉活動の推進役や専門職からみた地域福祉活動の抱える課題などを調査する。	13	参加したい地域福祉活動			質問11			
		14	求められている地域福祉活動				質問7	質問4	
		15	地域福祉活動の課題				質問8	質問5	
		16	④地域福祉活動としての寄付に関する意識 地域福祉活動としての寄付文化の醸成に向けて、現在の意識と併せて、どのような手段、どのような目的な寄付をしやすいかなどを調査する。	1-1(2)		質問12			
		17	寄付の目的			質問13			
	住民が主体的に地域課題を把握し解決できる体制づくり	⑤地域課題を解決できる体制に関する意識 地域福祉活動の推進役や専門職が、地域福祉活動を通して把握された地域課題について地域で解決できる体制が整っていると感じているか、体制を整えるための課題は何かを調査する。	18	解決体制の実感			質問9	質問6	
			19	体制を整えるために必要なこと				質問10	質問7
			20	⑥専門職による地域福祉活動支援に関する意識 地域福祉活動の推進役が専門職にどのような支援を受けているのか、また何を期待しているのかなどを調査する。	20	専門職の認知			質問11
	専門職による地域福祉活動への支援と協働	⑥専門職による地域福祉活動支援に関する意識 地域福祉活動の推進役が専門職にどのような支援を受けているのか、また何を期待しているのかなどを調査する。	21	専門職による支援の実感				質問12	
			22	専門職に期待する（される）こと				質問13	質問8
			23	専門職支援の課題					質問9
	地域における見守り活動の充実	⑦地域における見守り活動に関する意識 さまざまな形で実施されている地域における見守り活動についての認知度や実際に見守り活動をしている地域福祉活動の推進役や専門職が感じる見守り活動の課題などを調査する。	24	見守り活動の認知	1-1(5)	質問14			
			25	見守り活動への意識			質問15		
26			見守り活動の課題				質問14	質問10	
27			⑧多様な主体が実施する地域福祉活動に関する意識 地域福祉を推進するためには多様な主体の参画が重要であるが、その現状と地域福祉活動の推進役や専門職がどのような活動を期待しているのかなどについて調査する。	27	地域で参画している主体の種類			質問15	質問11
1-2 地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進	多様な主体の参画と協働	28	多様な主体への期待			質問16	質問12		
		29	⑨災害時における要援護者への支援 家族以外で頼りにできる人・機関			質問16			
1-3 災害時における要援護者の支援	災害時に備えた地域におけるつながりづくり	30	⑩災害時に備えたつながりづくりに関する意識 災害時に要援護者への支援をおこなうためには、普段からのつながりが重要である。いざという時に頼りにできる人や支援を必要としている人がいるのか、いざという時に住民同士が協力し合うために何が必要だと考えているのかなどを調査する。	30	支援が必要となる人の認知		質問17	質問17	
		31	普段から必要なこと			質問18	質問18	質問13	
		32	災害対応の準備の有無					質問14	
		33	防災の取り組みの認知			質問19	質問19		
		34	生活上の困っていること			質問20			
2-1 相談支援体制の充実	複合的な課題等を抱えた人への支援	35	相談できる人の有無	1-1(3)					
		36	相談できる人・機関			質問21			
		37	相談される頻度				質問20		
		38	相談される案件				質問21		
	社会参加に向けた支援	39	生困窓口の認知			質問22	質問22		
		40	相談を受けた際の連携先				質問23	質問15	
		41	⑪虐待を発生した際の通報に関する意識 虐待防止に向けて早期発見が重要となるため、地域の方向の通報への意識や通報を妨げる要因を調査する。	41	虐待通報への意識	2-2(1)	質問23	質問24	
2-2 権利擁護支援体制の強化	虐待防止の取組の推進	42	虐待の通報先			質問24	質問25		
		43	通報をためらう理由			質問25	質問26		
		44	⑫成年後見制度等の認知 成年後見制度等の認知	2-2(2)	質問26	質問27	質問27	質問28	
		45	相談のつなぎ先				質問28		
		46	制度情報の取得先			質問27			
	成年後見制度等の利用促進	47	⑬判断能力が低下した場合もしくは低下に備えて利用できる制度の認知度と制度利用に関するニーズや利用を阻害する要因などについて調査する。	47	法定後見制度を利用したいか		質問28		
		48	法定後見制度を利用したくない理由			質問29			
		49	任意後見制度を利用したいか			質問30			
		50	任意後見制度を利用したくない理由			質問31			
		51	任意後見制度を利用したくない理由						
回答者の属性	性別 年齢 職業 住んでいる区 世帯構成 住まいの形態 居住期間 町会への加入の有無 地域における役割 地域における役割の経験年数 専門職名					質問32-A	質問29-A	質問16-A	
						質問32-B	質問29-B	質問16-B	
						質問32-C	質問29-C	質問16-C	
						質問32-D	質問29-D	質問16-D	
						質問32-E			
						質問32-F			
						質問32-G	質問29-E		
						質問32-H			
							質問29-F		
							質問29-G		
						質問16-D			
合計質問数					32	29	16		

・・・R7調査で変更した設問・選択肢  
 ...部会・分科会での報告設問

地域での「つながり」の実感

1 (3 調査比較\_質問 1)



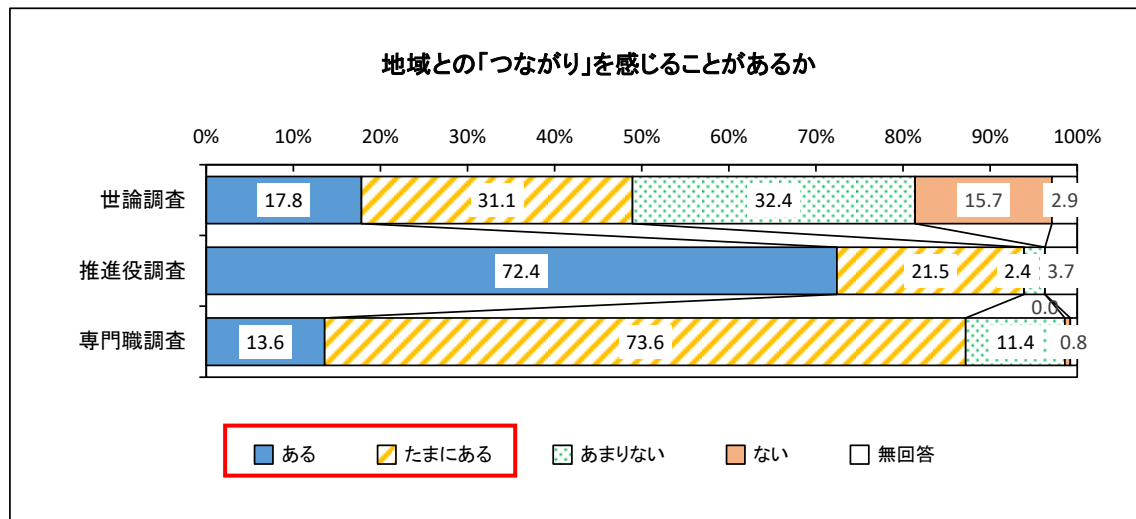
ある・たまにあるの回答率

世論 (51.9%)

推進役 (96.7%)

専門職 (93.0%)

参考 前回調査 (R4)



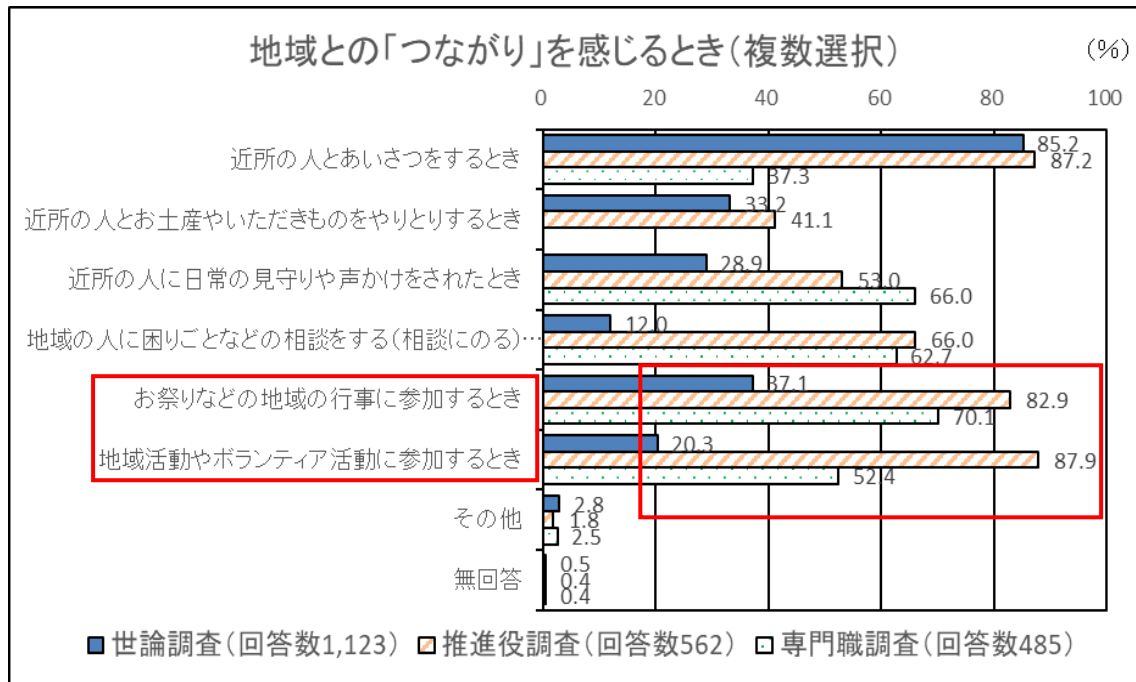
ある・たまにあるの回答率

世論 (48.9%)

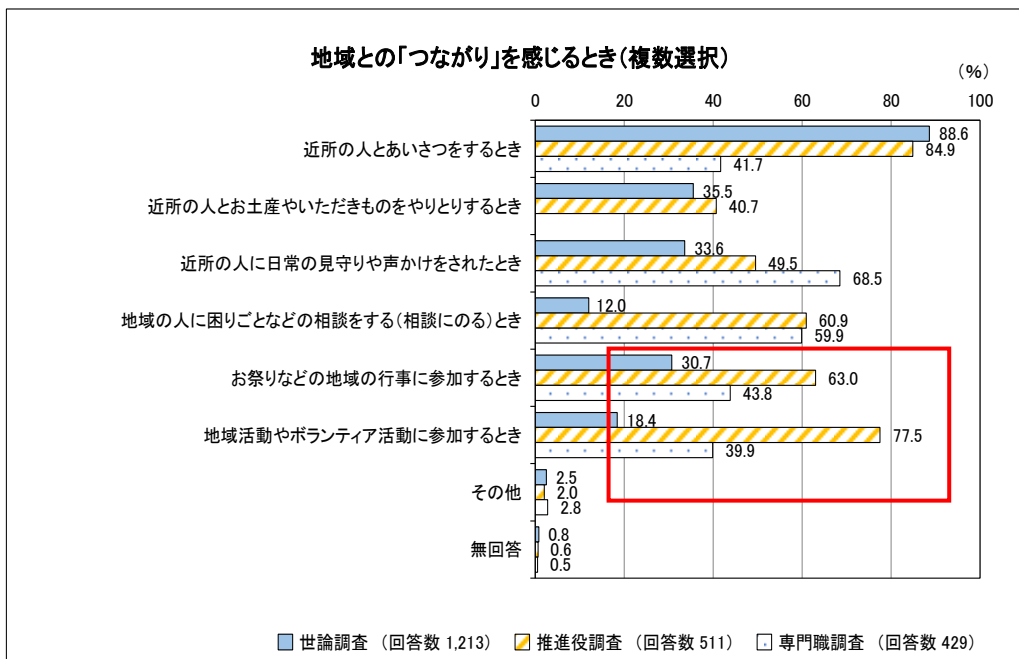
推進役 (93.9%)

専門職 (87.2%)

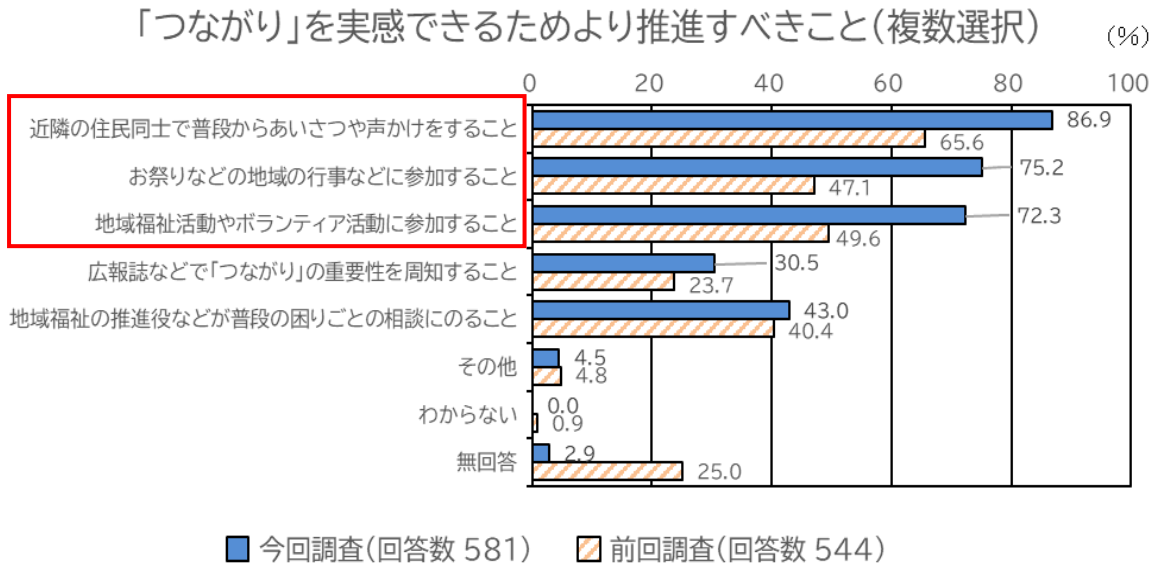
2 (3 調査比較\_質問 2) ※専門職調査においては「つながりのある地域」だと思う理由



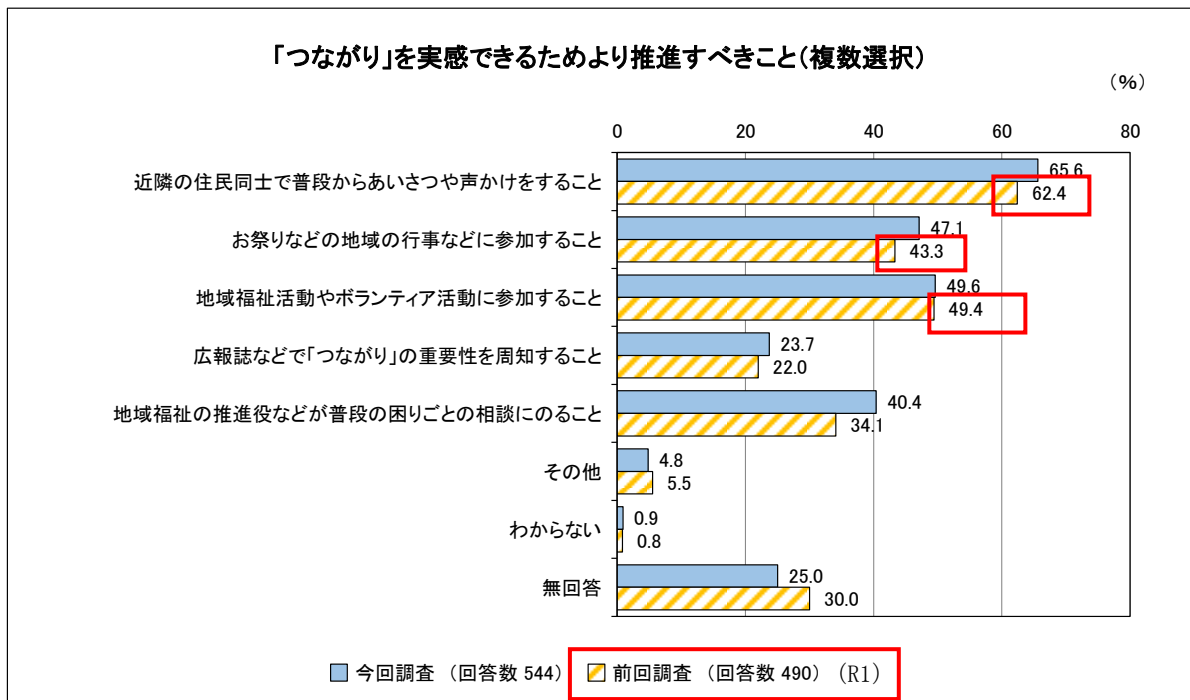
参考 前回調査 (R4)



3 推進役\_質問3



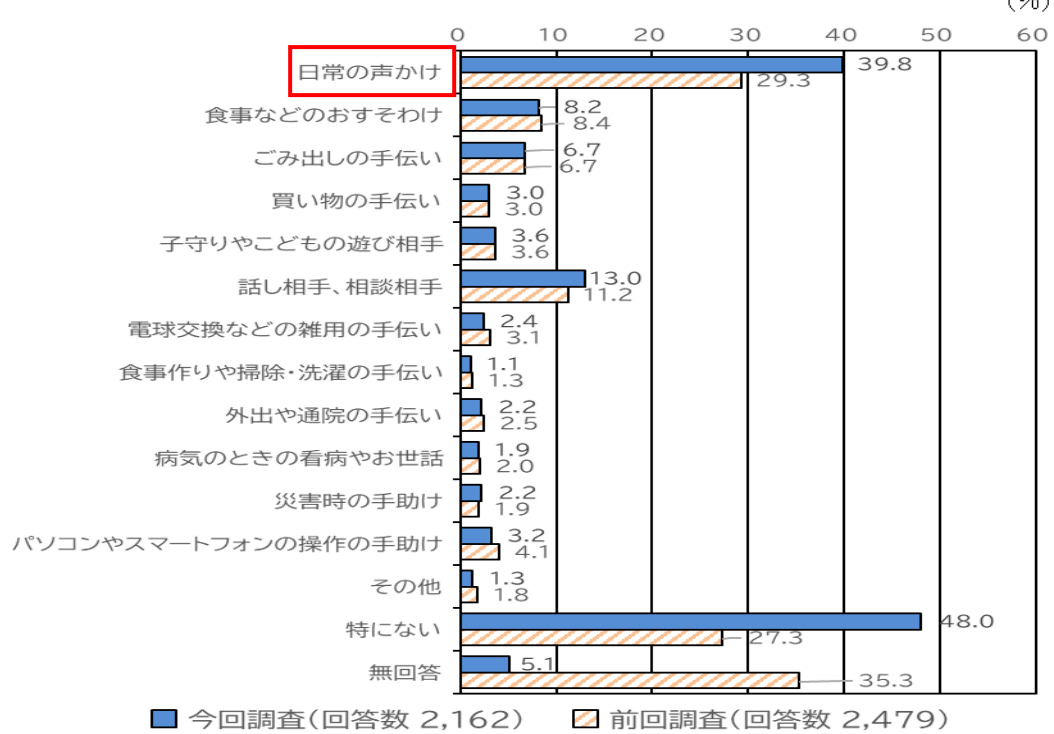
参考 前回調査 (R4) 推進役\_質問4



支え合い・助け合いに関する意識

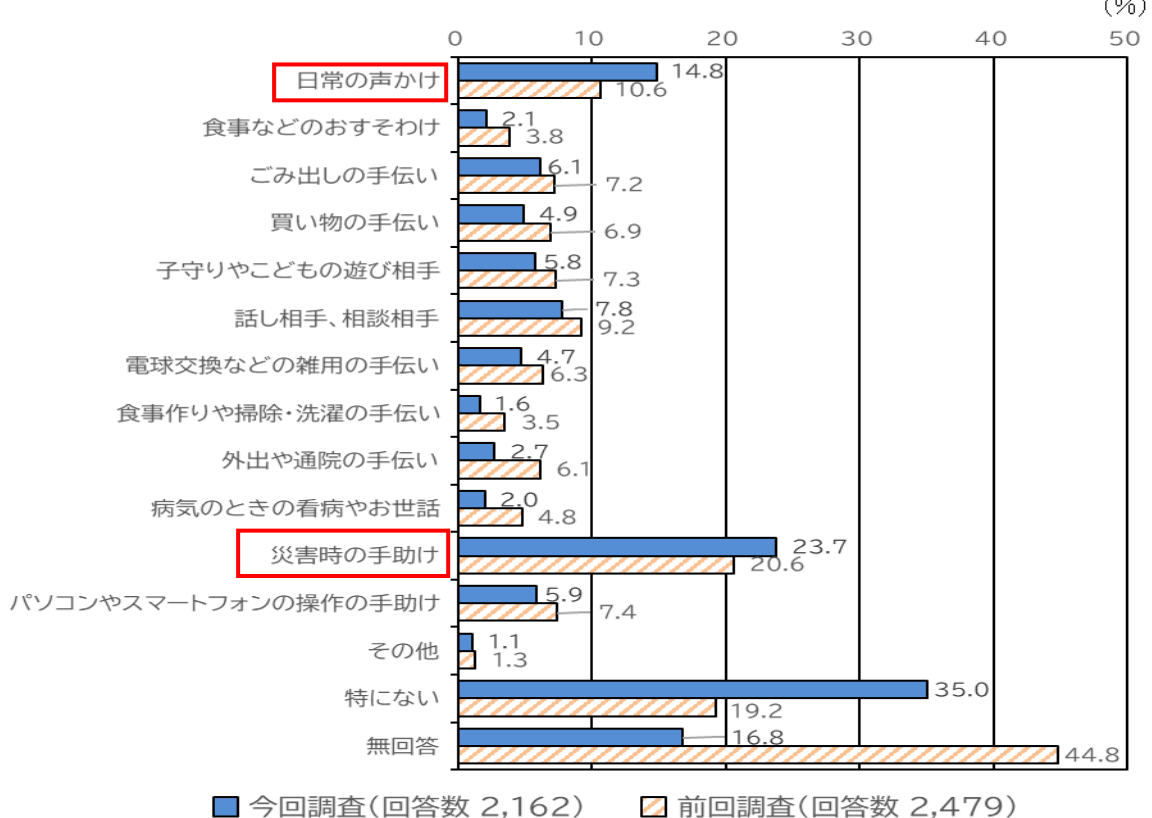
4 世論\_質問3

地域住民に対して手助けしたこと(複数選択)



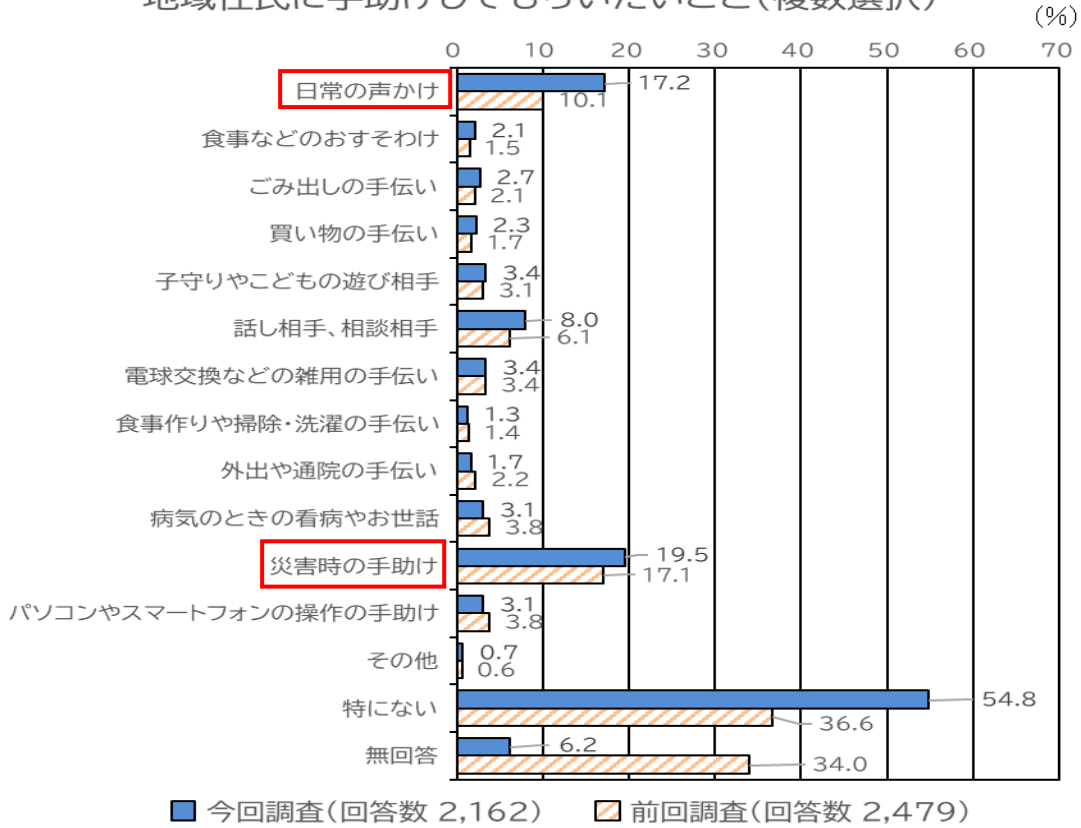
世論\_質問3

地域住民に対して手助けしたいと思ったこと(複数選択)



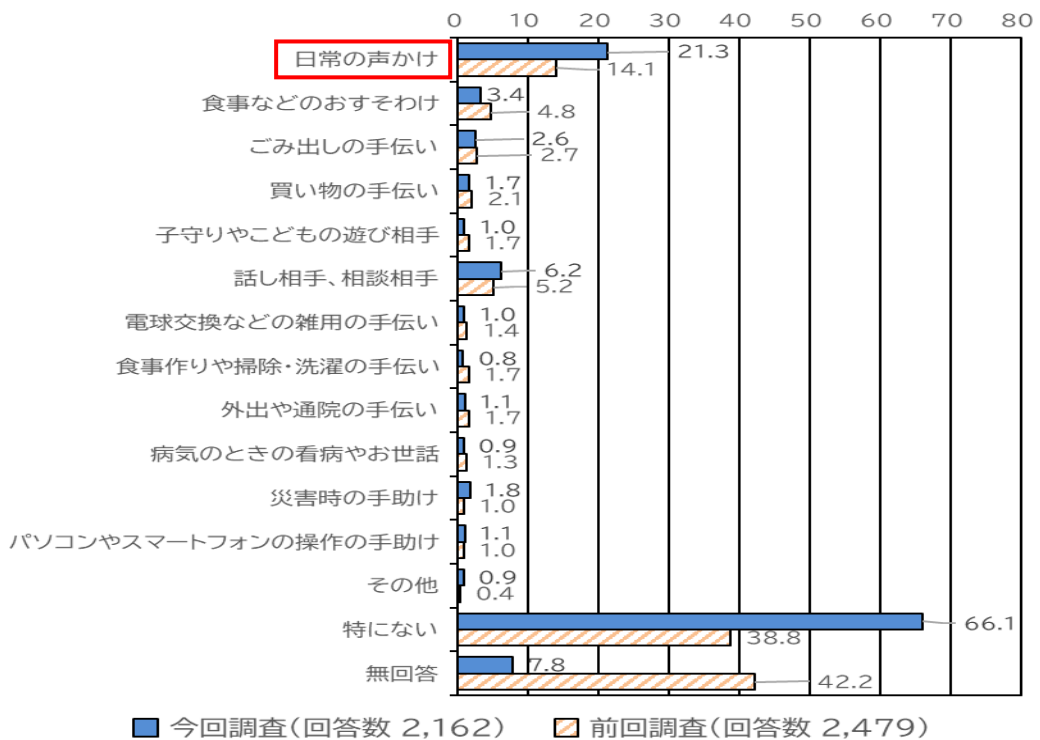
5 世論\_質問 4

地域住民に手助けしてもらいたいこと(複数選択)



世論\_質問 4

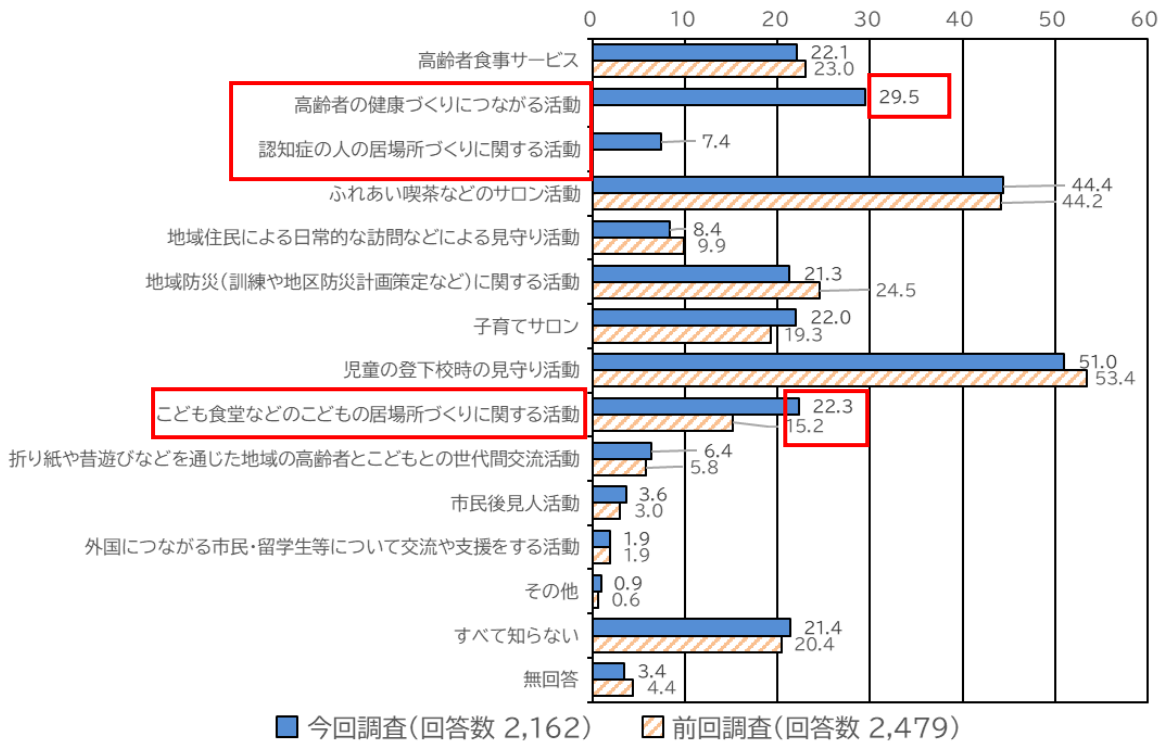
地域住民に手助けしてもらっていること(複数選択)



## 地域福祉活動に関する意識

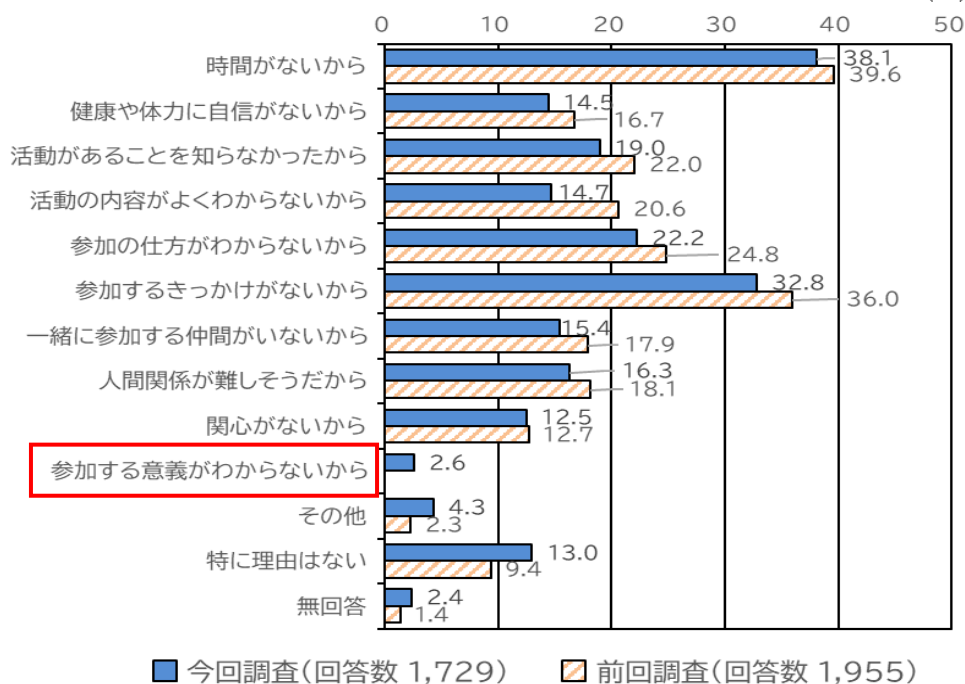
## 6 世論\_質問 5

地域で実施されている地域福祉活動で知っているもの(複数選択) (%)



## 12 世論\_質問 10

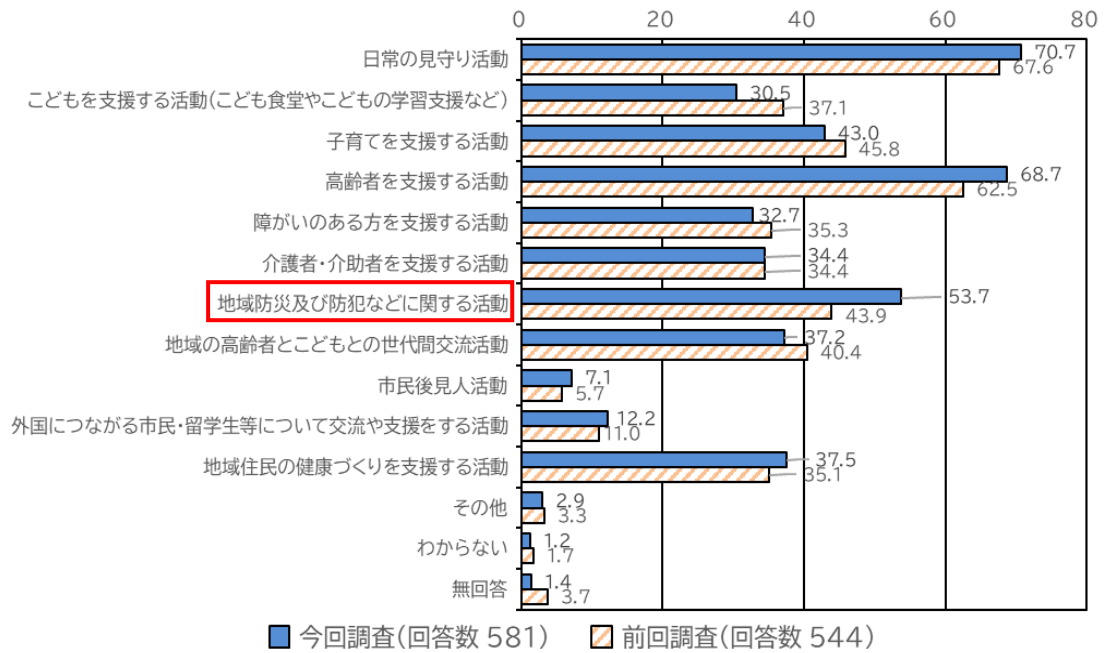
地域福祉活動へ参加しなかった理由(複数選択) (%)



## 14 推進役\_質問 7

地域福祉活動に求められていると感じること(複数選択)

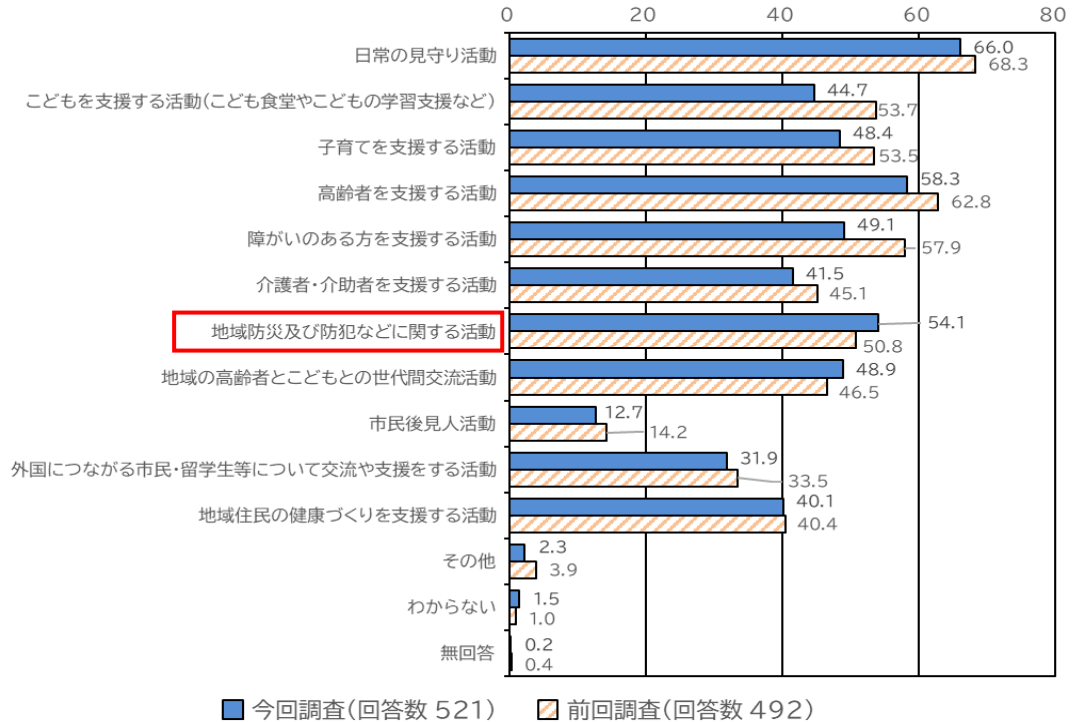
(%)



## 専門職\_質問 4

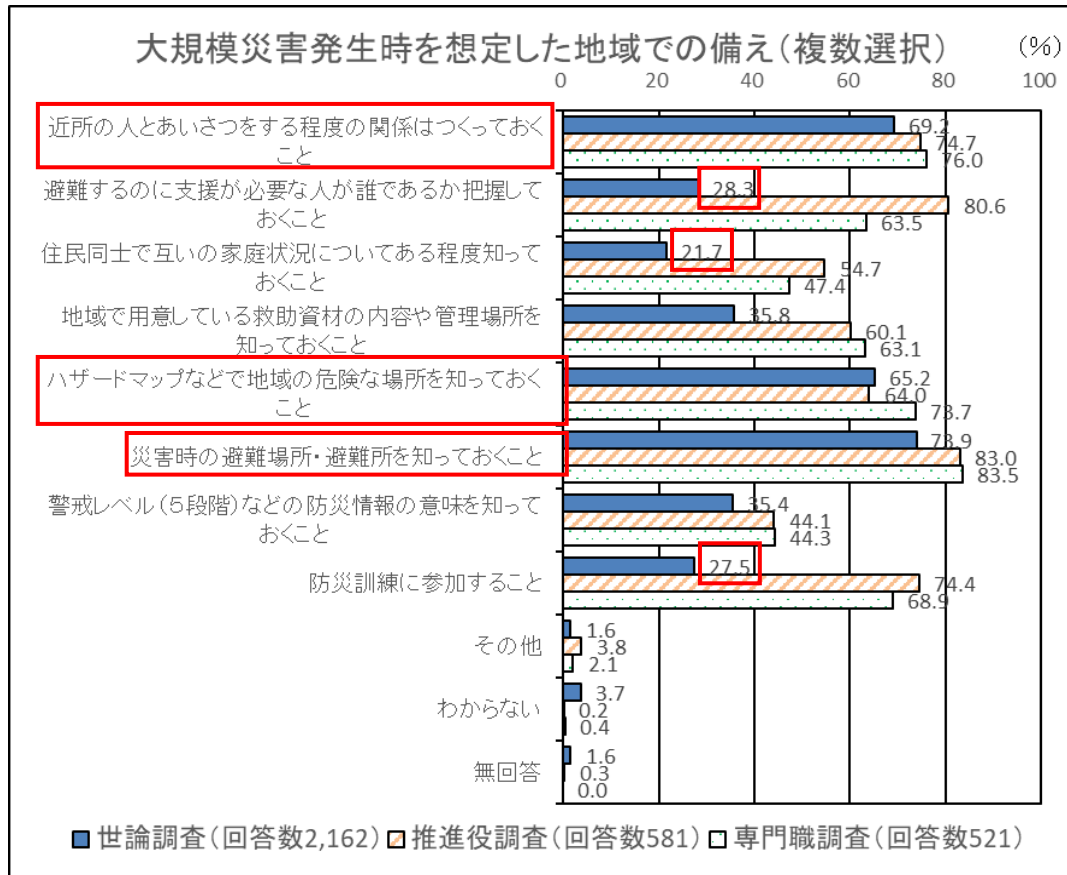
地域福祉活動に求められていると感じること(複数選択)

(%)

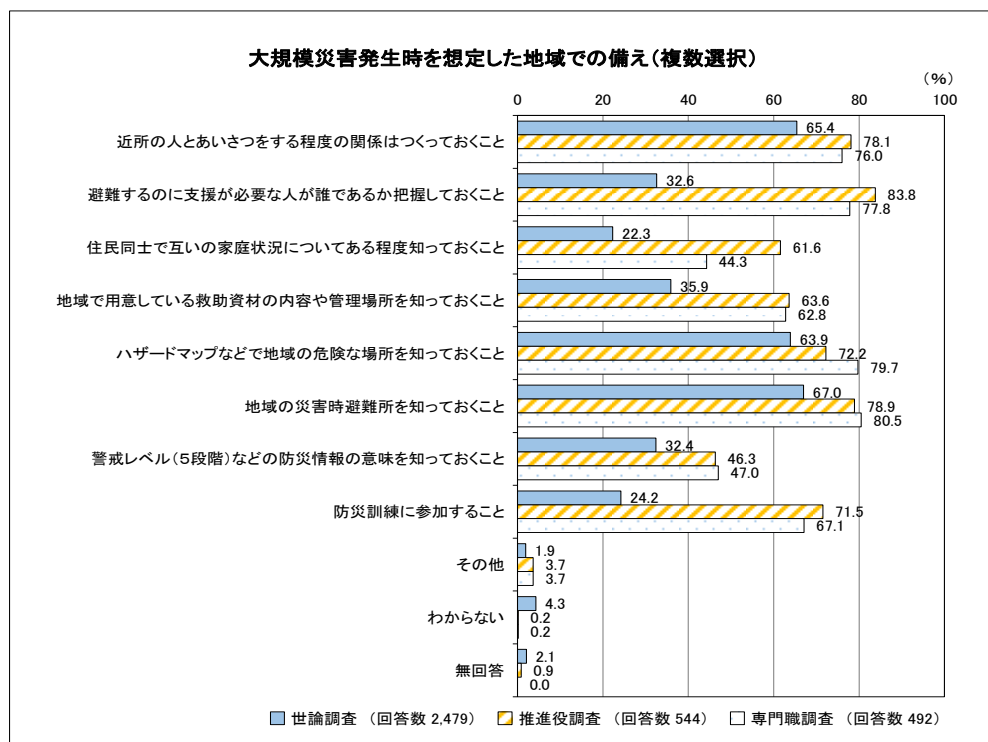


## 災害時に備えたつながりづくりに関する意識

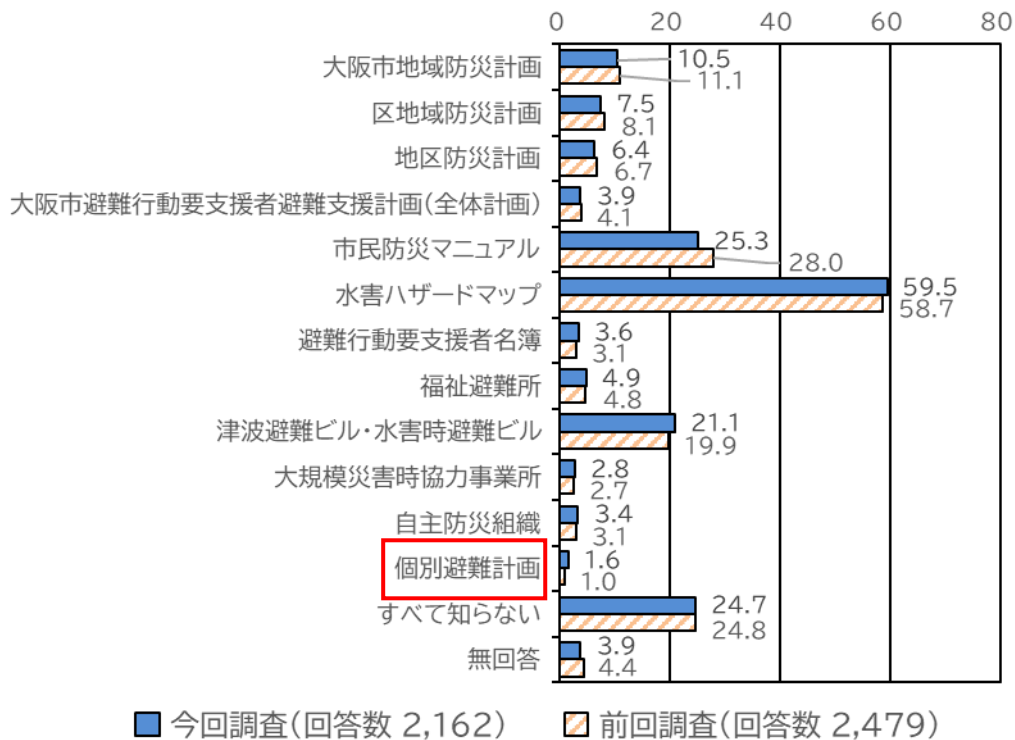
## 31 (3 調査比較 世論\_質問 18、推進役\_質問 18、専門職\_質問 13)



参考 前回調査 (R4)

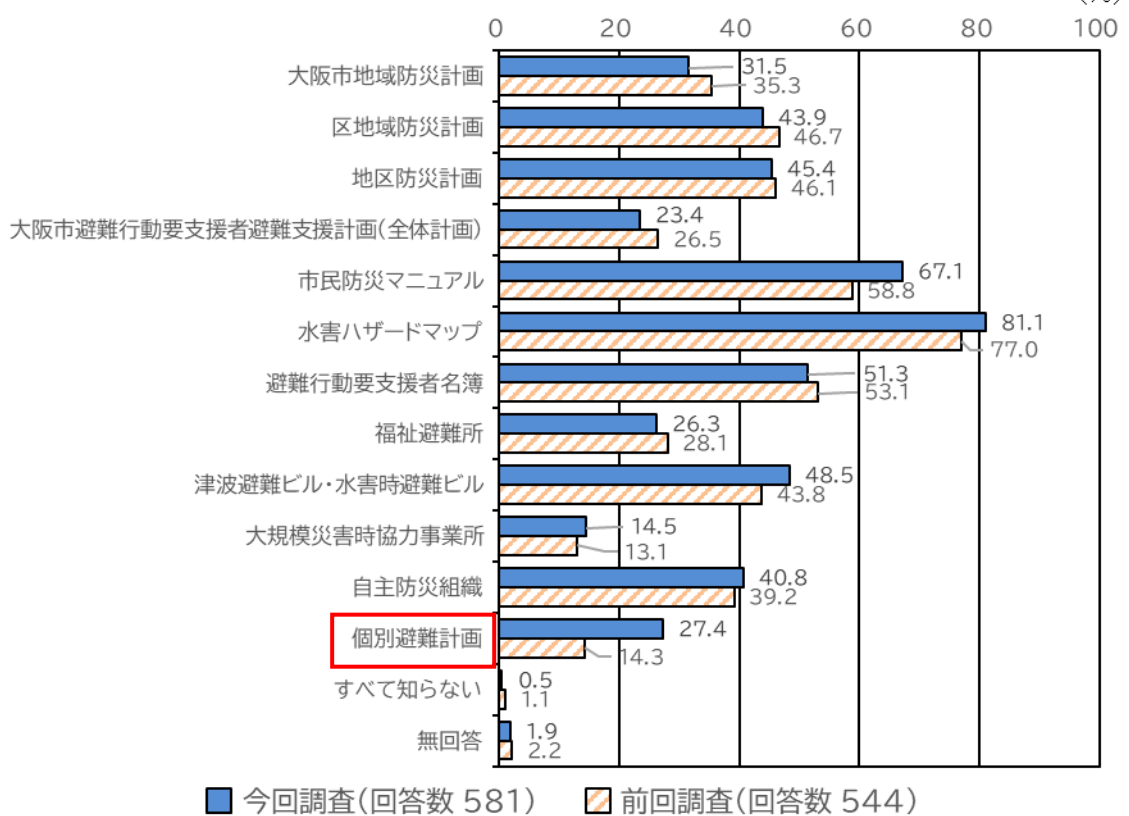


防災に関する取り組みで知っているもの(複数選択) (%)



推進役\_質問 19

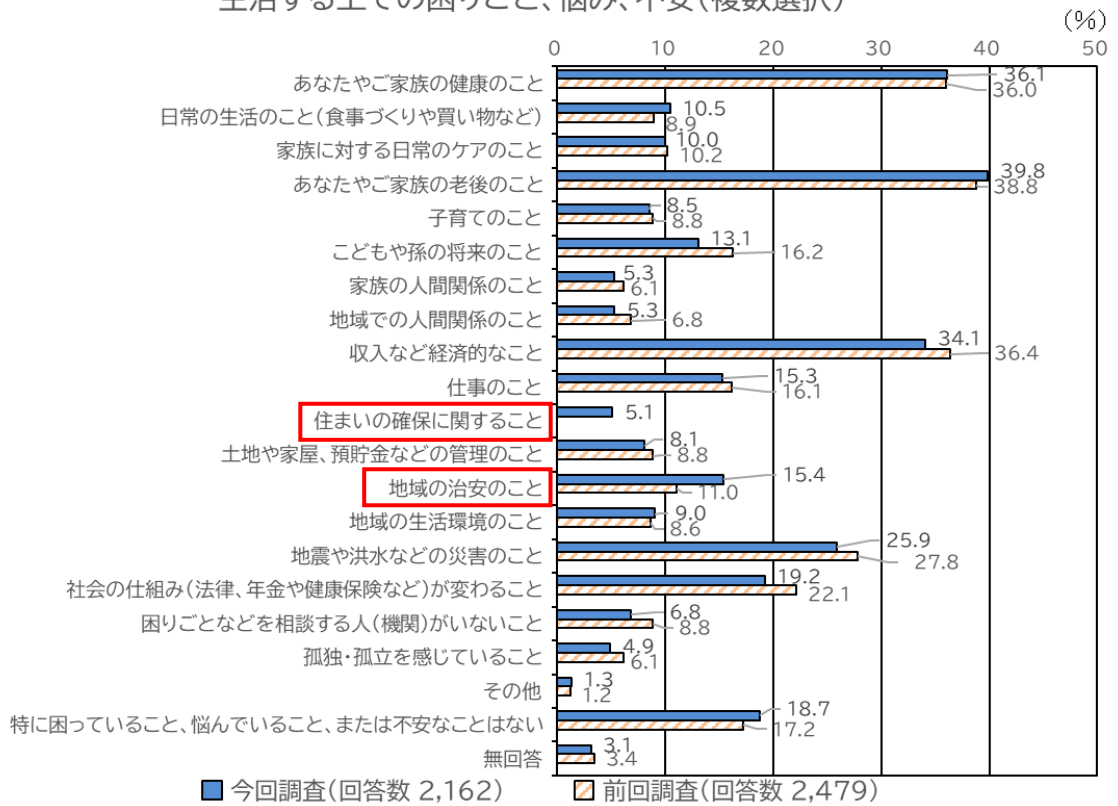
防災に関する取り組みで知っているもの(複数選択) (%)



地域における相談支援の現状

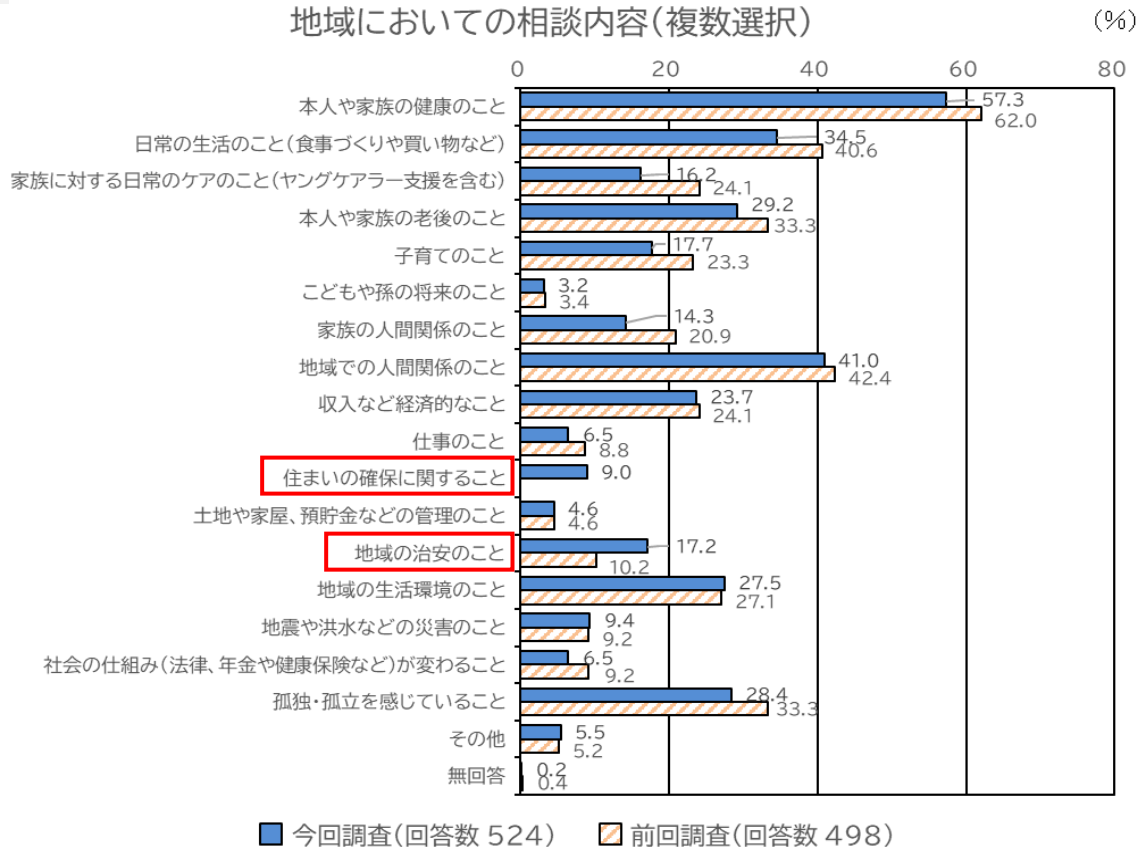
34 世論\_質問 20

生活する上での困りごと、悩み、不安(複数選択)



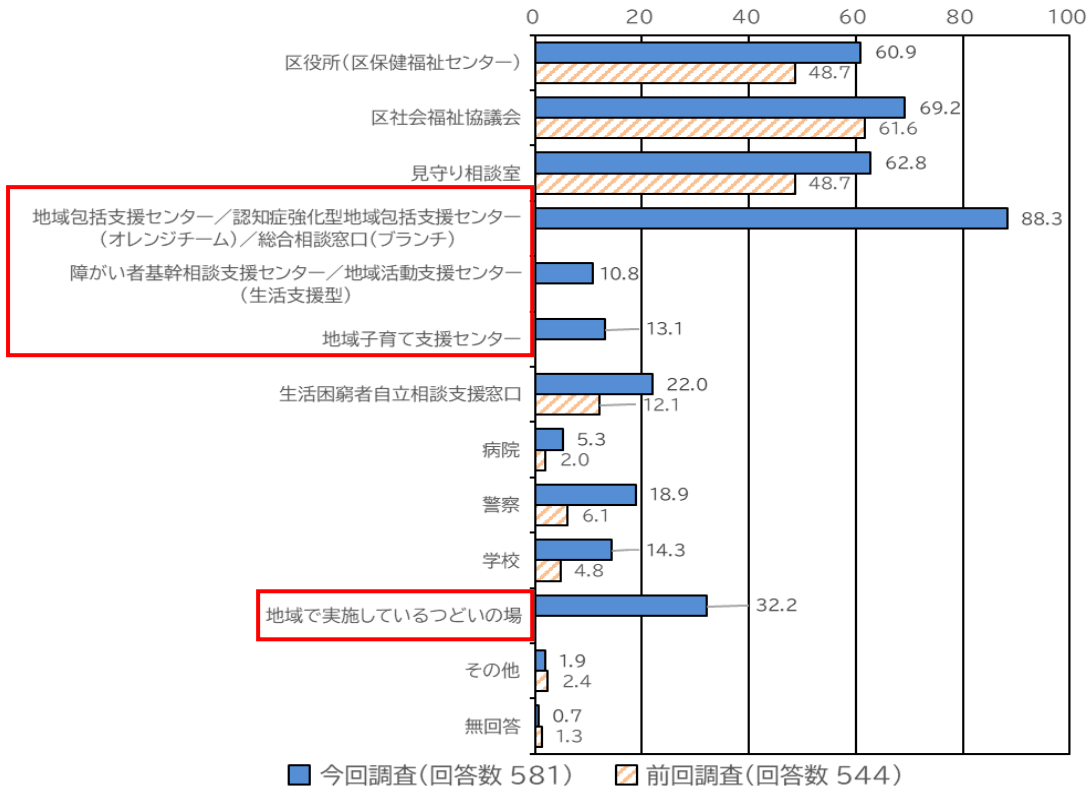
38 推進役\_質問 21

地域における相談内容(複数選択)



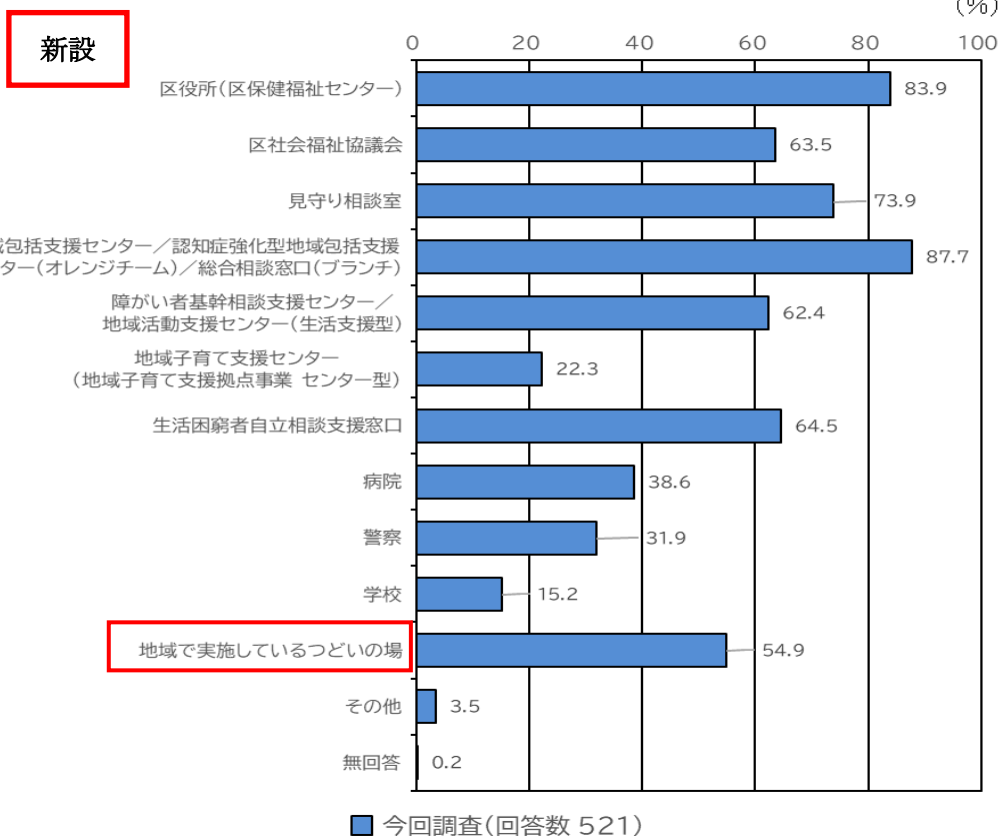
40 推進役\_質問 23

相談を受けた際につなぐ機関(複数選択) (%)



専門職\_質問 15

相談を受けた際に連携する機関(複数選択)

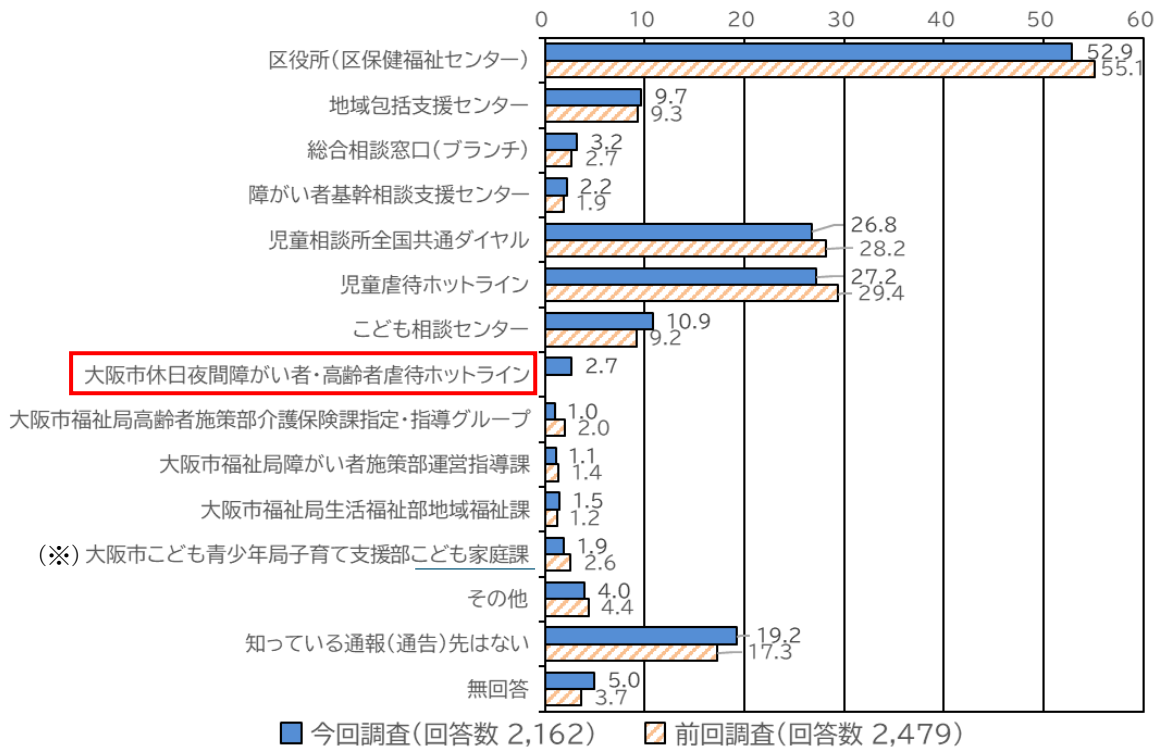


## 虐待を発見した際の通報に関する意識

## 42 世論\_質問 24

虐待の通報(通告)先で知っているもの(複数選択)

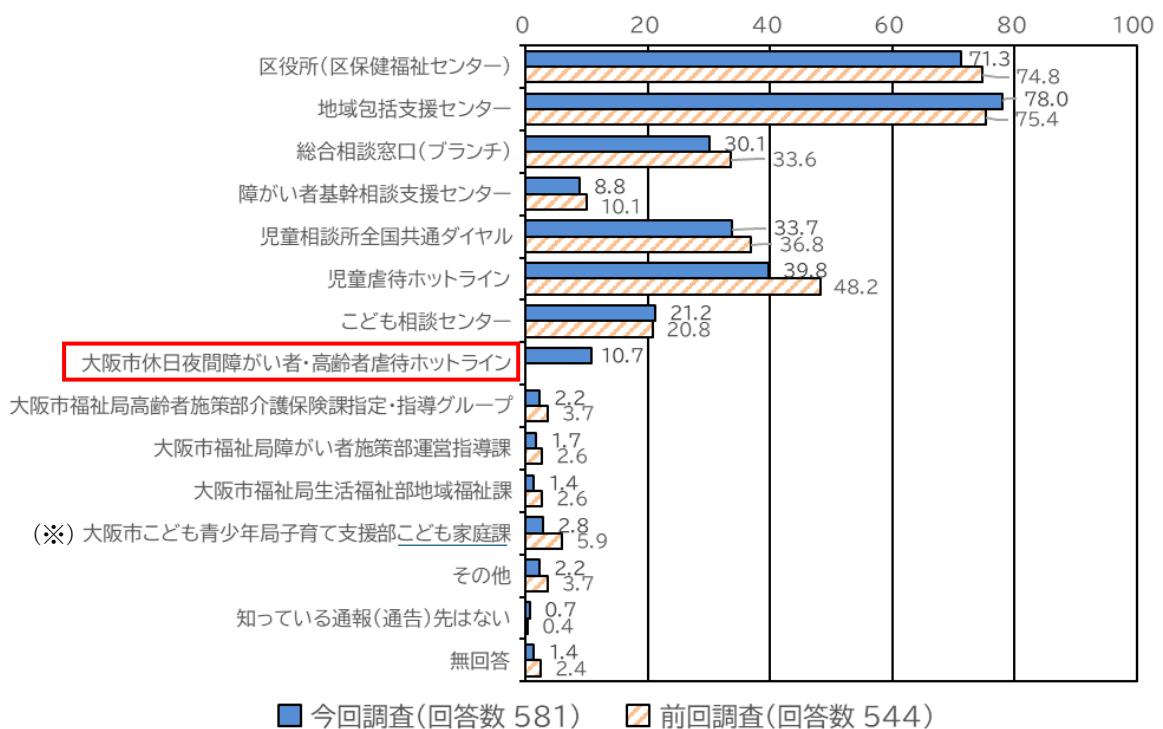
(%)



## 推進役\_質問 25

虐待の通報(通告)先で知っているもの(複数選択)

(%)

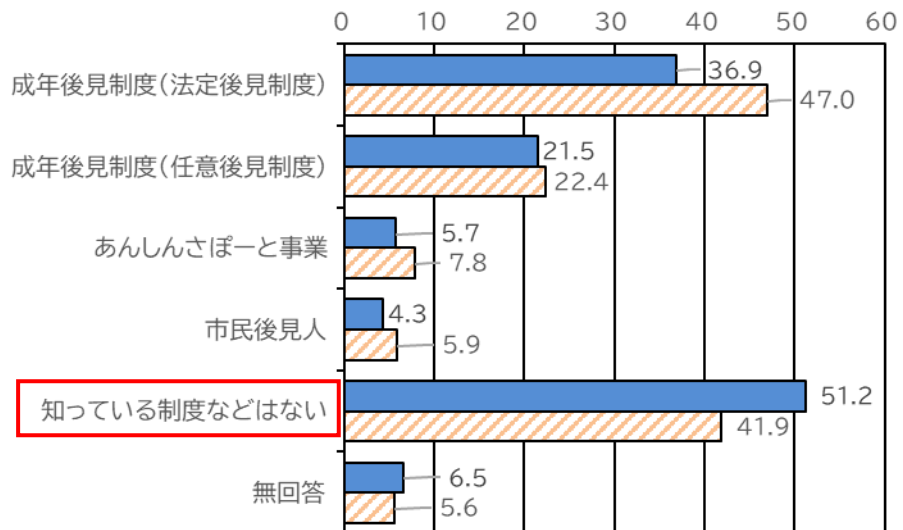


(※) 現在の担当部署は「大阪市こども青少年局子育て支援部管理課」です。

成年後見制度等への意識

44 世論\_質問 26 **この調査以前から**

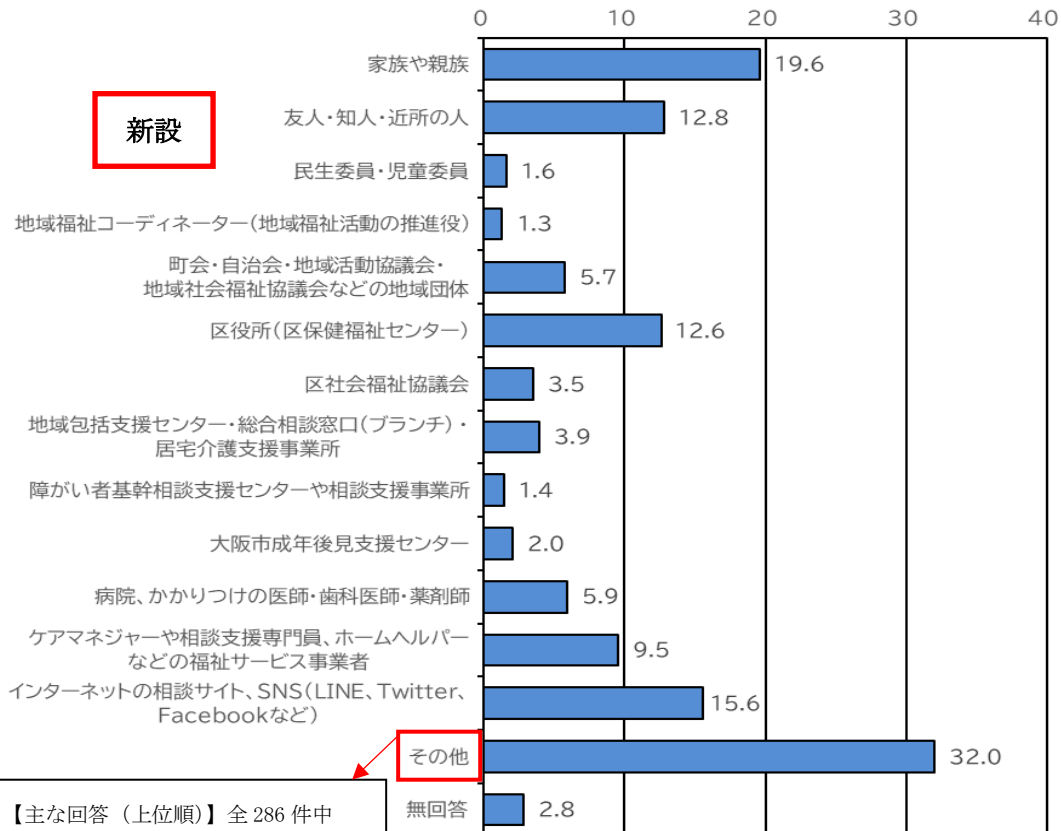
知っている権利擁護の制度・事業(複数選択) (%)



■ 今回調査(回答数 2,162) ■ 前回調査(回答数 2,479)

46 世論\_質問 27 [質問 26 で「1 成年後見制度(法定後見制度)」「2 成年後見制度(任意後見制度)」「3 あんしんさぼーと事業」「4 市民後見人」と答えた方が回答]

知っている権利擁護の制度・事業の情報源(複数選択) (%)



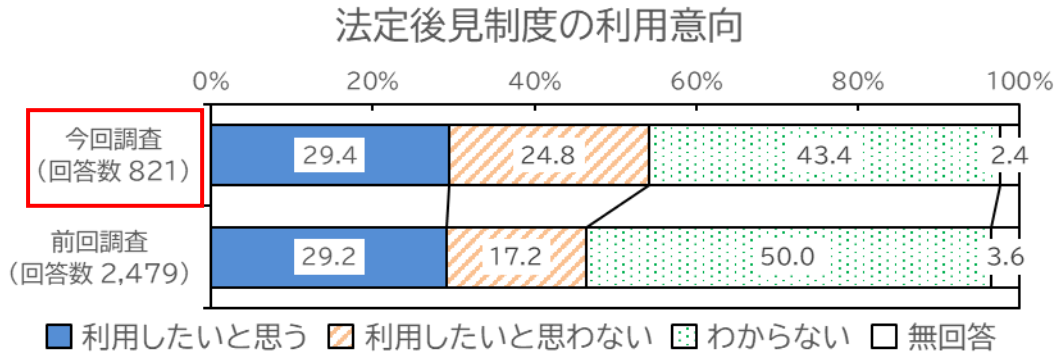
【主な回答(上位順)】全 286 件中

- ・テレビ(ニュース、ドラマ) 約 90 件
- ・新聞 約 85 件
- ・仕事上で知った 約 80 件
- ・資格取得や勉強 約 50 件

■ 今回調査(回答数 913)

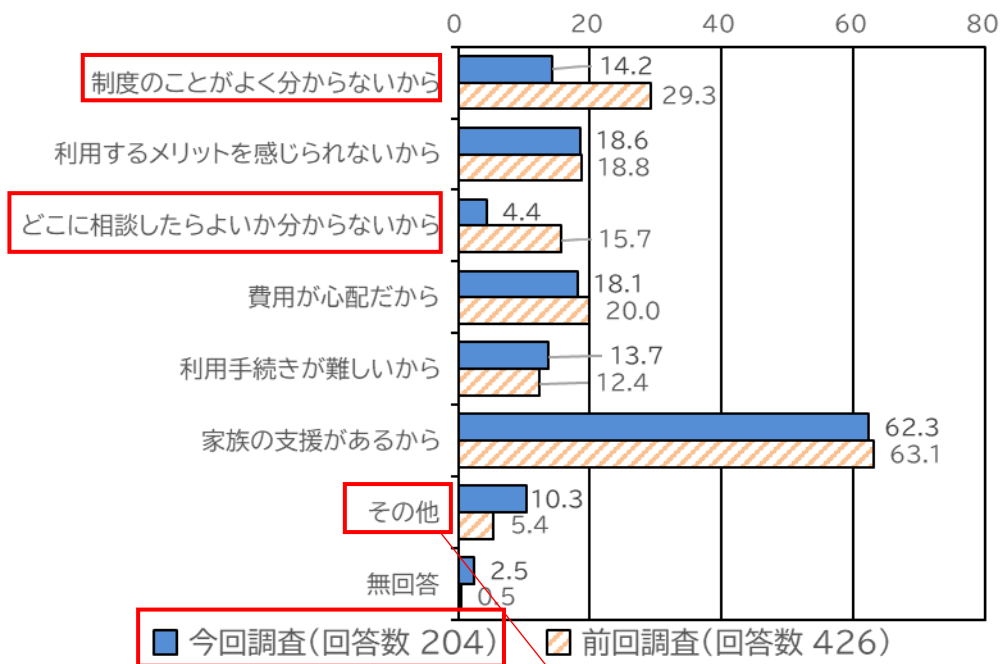
47 世論\_質問 28 [質問 26 で「1 成年後見制度（法定後見制度）」「2 成年後見制度（任意後見制度）」  
「3 あんしんさぽーと事業」「4 市民後見人」と答えた方が回答]

※質問 26 で「あんしんさぽーと事業」のみを回答した方を除く



48 世論\_質問 29 [質問 28 で「2 利用したいと思わない」と答えた方が回答]

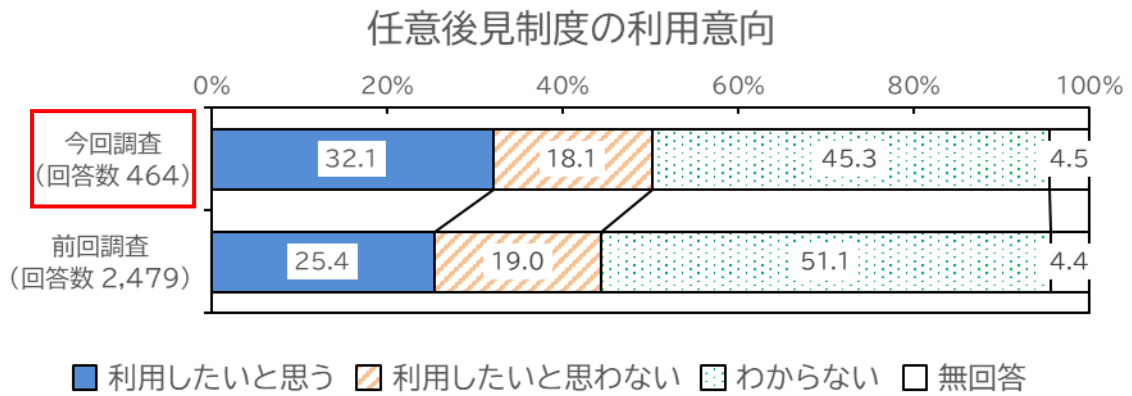
### 法定後見制度を利用したくない理由(複数選択) (%)



**【主な回答】**

- ・信頼できない、信頼度が不明
- ・ニュースで被害事例を知った（資産の横領など）ので、制度悪用の懸念がある
- ・制度や手順が複雑、利用者からめんどくさいと聞いた など

49 世論\_質問 30 [質問 26 で「2 成年後見制度（任意後見制度）」と答えた方が回答]



50 世論\_質問 31 [質問 30 で「2 利用したいと思わない」と答えた方が回答]

### 任意後見制度を利用したくない理由(複数選択) (%)

